

2019年度  
札幌学院大学 人文学部

# 公開講座

会場

札幌学院大学

D館202教室 (D館2階)

※6月29日のみE館501教室 (E館5階)

コーディネーター：井上 大樹 (札幌学院大学人文学部准教授)



受講料無料!

事前申込不要

## 人間論特殊講義

2019年5月11日(土)~6月29日(土)

13:10~16:20 (休憩14:40~14:50) ※6月15日のみ10:50~12:20

《えべつ市民カレッジ講座》

江別市と市内4大学が連携して行う公開講座です。

《道民カレッジ連携講座》

15回、各回毎に出席した方へ1単位認定いたします。

(単位認定については教育支援課までお問い合わせください。)

## 総合テーマ

# SDGsと地域づくりを結ぶ学びへ

—SGUが提起する未来の社会教育—

本学の新札幌キャンパス展開にあたり新しい理念としてSDGs (持続可能な発展への目標) への教育 (ESD) を取り入れることになった。また、本学の社会教育主事課程は制度変更によって2020年度から「社会教育士」養成課程として新しいスタートを切る。なお、社会教育・生涯学習の国際的な潮流としてESDの理念を保障すべき学習権の内容にすべく実践及び研究が展開されている。本講義では、日本及び北海道における社会教育を概観しつつ、ESDの理念や実践に触れる中で本学の教育成果に基づきこれからの社会教育への提言を試みたい。

【第1回】

5月11日(土) 3講時 | 井上 大樹 (札幌学院大学 人文学部 准教授)

ガイダンスとイントロダクション

【第2回】

5月11日(土) 4講時 | 河西 邦人 (札幌学院大学 学長)

SGUの新しい理念としてのSDGs

【第3回】

5月18日(土) 3講時 | 藤野 真一郎 (恵庭市 総務部 基地・防災課課長)

社会教育主事の仕事

【第4回】

5月18日(土) 4講時 | 井上 大樹 (札幌学院大学 人文学部 准教授)

社会教育主事から社会教育士へ

—制度変更のポイント—

【第5回】

5月25日(土) 3講時 | 谷川 松芳 (元北翔大学 教授、元長沼町教育委員会社会教育主事)

公民館と大人の生涯学習を考える

【第6回】

5月25日(土) 4講時 | 遠藤 知恵子 (元北翔大学 学長、札幌遠友塾自主夜間中学代表)

学ぶ権利と夜間中学

【第7回】

6月1日(土) 3講時 | 大塚 宜明 (札幌学院大学 人文学部 講師)

博物館の学びと学芸員の仕事

—札幌学院大学における学芸員養成の視点—

【第8回】

6月1日(土) 4講時 | 相馬 契太 (NPO法人訪問と居場所 漂流教室 理事)

学校教育と社会教育

—不登校支援から見えること—

【第9回】

(共催：日本社会教育学会第43回東北・北海道集会)

6月8日(土) 3講時 | 中澤 八栄 (仙台自主夜間中学 代表)

困難を抱えた人を取り残さない地域づくりと学び

—市民活動から広がる義務教育保障の仕組み—

【第10回】

(共催：日本社会教育学会第43回東北・北海道集会)

6月8日(土) 4講時 | 富田 直和 (八雲町若人の集い 委員長)

困難を抱えた人を取り残さない地域づくりと学び

—小規模自治体の若者の社会的自立支援—

【第11回】

6月15日(土) 2講時 | 佐々木 あゆみ (ワークスコープ北海道事業本部 事務局長)

「働き方改革」と社会教育

【第12回】

6月22日(土) 3講時 | 鈴木 敏正 (北海道文教大学 教授)

SDGsはどう教育を変えるのか

【第13回】

6月22日(土) 4講時 | 新田 雅子 (札幌学院大学 人文学部 准教授)

人生100年時代におけるシニアのUnlearn

(学びほぐし) を大学で

【第14回】

6月29日(土) 3講時 | 太田 稔 (NPO法人共育フォーラム 理事長、札幌大谷大学 講師)

SDGs時代で求められる社会教育

—社会活動家からの提起— (環境教育とNPO)

【第15回】

6月29日(土) 4講時 | 橋長 真紀子 (札幌学院大学 経営学部 教授)

SDGs時代で求められる社会教育

—社会活動家からの提起— (消費者教育とフェアトレード)

主催：札幌学院大学 人文学部

共催：江別市教育委員会

# 2019年度 札幌学院大学 人文学部 公開講座 (人間論特殊講義) ～ 講師紹介 ～

## 第1回 / 5月11日 (土) 3講時 ガイダンスとイントロダクション

第4回 / 5月18日 (土) 4講時

## 社会教育主事から社会教育士へー制度変更のポイントー

井上 大樹 (札幌学院大学 人文学部 准教授)

1976年札幌市出身。1999年3月北海道大学文学部行動科学科卒業。2001年3月北海道大学大学院教育学研究科修士課程修了 修士(教育学)。2008年9月北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学。2012年4月北海道文科大学人間科学部講師。2016年4月札幌学院大学人文学部准教授。専門は教育学・保育学。社会教育関連では、青年教育、家庭教育、識字教育、地域教育。2016年度より江別市及び恵庭市社会教育委員。札幌遠友塾自主夜間中学(元)代表。地域再生における市民としての学び、権利としての教育の質的充実による次世代育成サイクルの再生過程が現在の研究テーマ。また、コミュニティ・スクールにおける学校と地域、行政との関係性の転換についても注目している。本講座では、2020年度開始の「社会教育士養成課程」がSDGsと絡めた展開による可能性を多くの市民に知っていただきたい。

## 第2回 / 5月11日 (土) 4講時 SGUの新しい理念としてのSDGs

河西 邦人 (札幌学院大学 学長)

1960年東京都出身。1985年3月茨城大学人文学部卒業。1988年3月早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了。1997年3月青山学院大学大学院経営学研究科博士後期課程退学。1997年4月札幌学院大学商学部専任講師。2019年4月札幌学院大学学長。1997年に札幌学院大学で教鞭を執るため、東京から移住。大学での仕事と北海道ならではの生活を楽しみながら22年目になる。大学では経営学等の授業を担当し、大学院地域社会マネジメント研究科では札幌市経済観光局との共催で、全国でも2例目のソーシャルビジネス・スクールを開講する。2012年に日本初となる貸金業NPO、北海道NPOバンクの創業へ参加し、現在、理事長を兼務し、道内のNPOを支援している。持続可能な北海道づくりを人生の使命とする。

## 第3回 / 5月18日 (土) 3講時

## 社会教育主事の仕事

藤野 真一郎 (恵庭市 総務部 基地・防災課課長)

1973年札幌市生まれ恵庭市在住。北海道大学教育学研究科社会教育研究室卒業。1996年に恵庭市に奉職。花と緑の課、環境課、そして2005年から社会教育課での13年間は、社会教育主事として勤務。その間、石狩管内の社会教育主事会の研究部長や会長、2013年には全道社会教育主事協議会会長を務める。現在は、総務部基地・防災課長。

## 第5回 / 5月25日 (土) 3講時

## 公民館と大人の生涯学習を考える

谷川 松芳 (元北翔大学 教授、元長沼町教育委員会社会教育主事)

1951年置戸町出身。2000年3月北海道大学大学院教育学研究科修了。1971年8月十勝郡浦幌町教育委員会社会教育主事。1979年12月帯広市瑞穂町(北見市)教育委員会社会教育主事。1989年4月夕張郡長沼町教育委員会社会教育主事。2005年4月浅井学園大学生涯学習学部教授。2007年4月北翔大学生涯学習学部教授。学生部長、生涯学習研究所所長歴任。2018年4月北翔大学非常勤講師。元北海道社会教育主事協議会会長。元北海道生涯学習審議会会長。現北海道社会教育委員。現まちづくりグループ「マオイネットワーク」広場。現SAJ公認長沼スキースクール事務局長。

## 第6回 / 5月25日 (土) 4講時

## 学ぶ権利と夜間中学

遠藤 知恵子 (元北翔大学 学長、札幌遠友塾自主夜間中学代表)

1940年札幌市出身。1959年3月北海道立札幌南高等学校卒業。1963年3月北海道大学文学部(ドイツ文学専攻)卒業。1991年3月北海道大学大学院教育学研究科修士課程単位取得退学(1995年教育学博士号取得)。1991年4月弘前学院大学助教授、教授)。1999年4月～2003年3月弘前学院大学文学部長。2003年4月北海道浅井学園大学(現北翔大学)生涯学習システム学部教授。2006年2月～2010年2月北翔大学学長、北翔大学短期大学部学長。2010年～現在北翔大学北方圏学術センター研究員、北翔大学名誉教授。2011年4月札幌遠友塾自主夜間中学スタッフ。2012年7月～現在札幌遠友塾自主夜間中学代表。

## 第7回 / 6月1日 (土) 3講時

## 博物館の学びと学芸員の仕事 ー札幌学院大学における学芸員養成の視点ー

大塚 宜明 (札幌学院大学 人文学部 講師)

1982年茨城県出身。2006年3月 明治大学文学部卒業。2008年3月 明治大学大学院博士前期課程修了。2016年3月 明治大学大学院博士後期課程修了。明治大学大学院文学研究科博士課程修了、博士(史学)。国立歴史民俗博物館を経て、2014年札幌学院大学人文学部人間科学科に着任。博物館学および考古学を担当。著書に『日本列島におけるナイフ形石器文化の生成ー現生人類の移住と定着ー』(北海道大学出版会)。

## 第8回 / 6月1日 (土) 4講時

## 学校教育と社会教育 ー不登校支援から見えることー

相馬 契太 (NPO法人訪問と居場所 漂流教室 理事)

1971年札幌市出身。NPO法人訪問と居場所 漂流教室 理事。2002年、訪問専門のフリースクールとして漂流教室を設立。2006年、フリースペース漂流教室をオープン。2010年、後志地域の経済困難家庭の子どもへの学習支援、生活支援を開始。そのほか、中学校の相談室や就労移行支援施設など、なんとなく生きづらさを感じている子ども、若者にかかわる仕事をしている。

## 第9回 / 6月8日 (土) 3講時 (共催:日本社会教育学会第43回東北・北海道集会) 困難を抱えた人を取り残さない地域づくりと学び ー市民活動から広がる義務教育保障の仕組みー

中澤 八榮 (仙台自主夜間中学 代表)

1943年宮城県出身。2014年3月福島大学大学院地域政策科学研究科。2004年3月民間保険会社定年退職。2014年7月任意団「仙台に夜間中学をつくり育てる会」を立ち上げ、夜間中学を開講する活動開始。2014年11月仙台自主夜間中学開講。

## 第10回 / 6月8日 (土) 4講時 (共催:日本社会教育学会第43回東北・北海道集会) 困難を抱えた人を取り残さない地域づくりと学び ー小規模自治体の若者の社会的自立支援ー

富田 直和 (八雲町若人の集い 委員長)

1978年八雲町出身。1997年3月北海道八雲高等学校卒業。1997年4月家業の農業を継ぐ。1997年4月町内の社会人青年サークル「若人の集い」入会。現在、約13haの農地で、南瓜・ジャガイモ・小豆・長ネギ・スイートコーン・ゴボウ等を生産する畑作経営。就職後より、地元の様々な産業団体、文化団体、まちづくり団体に所属し活動。現在の主な役職:若人の集い副委員長、八雲ばやし「どどん鼓座」事務局長、八雲町男女共同参画社会をすすめる会会長、八雲町総合開発委員会委員。

## 第11回 / 6月15日 (土) 2講時

## 「働き方改革」と社会教育

佐々木 あゆみ (ワークスコープ北海道事業本部 事務局長)

1972年苫小牧市出身。2008年4月ワークスコープセンター事業団入団(誰もが役割と居場所のある社会づくりを目指して、労働者や地域住民が協同で出資をし、地域に必要な居場所や仕事を創り出す協同組合)。2009年苫小牧市コミュニティセンター館長。2012年道南エリアマネージャー。2013年北海道事業本部事務局長。2014年事務局長。現在に至る。3年前より、子ども食堂、地域食堂、フードバンク事務局等、活動中

## 第12回 / 6月22日 (土) 3講時

## SDGsはどう教育を変えるのか

鈴木 敏正 (北海道文教大学 教授)

1947年静岡県出身。1966年3月静岡県立清水東高等学校卒業。1997年3月京都大学大学院農学研究科修士課程修了(農学博士)。1993年3月北海道大学博士(教育学)。1981年7月北海道大学教育学部助教授。1996年4月北海道大学教授、北海道大学大学院教育学研究科教授、同研究科長=学部長。札幌国際大学教授などを経て、北海道文教大学教授(現在に至る)。日本社会教育学会元会長、日本教育学会前北海道支部長。専門は教育学、社会教育学、環境教育論、地域づくり教育論。主な著書(単著)は、『教育学をひらく』(青木書店)、『生涯学習の教育学』(北樹出版)、『持続可能な発展の教育学』(東洋館出版社)、『将来社会への学び』(筑波書房)

## 第13回 / 6月22日 (土) 4講時

## 人生100年時代におけるシニアのUnlearn(学びほぐし)を大学で

新田 雅子 (札幌学院大学 人文学部 准教授)

1974年札幌市出身。1998年立教大学社会学研究科修士課程修了、2003年同社会学研究科博士後期課程単位取得退学。2003年札幌学院大学人文学部人間科学科に着任。研究テーマは老いagingと老人保健福祉介護政策に関する福祉社会学的研究。著作に『自立と福祉』(現代書館・共著)。

## 第14回 / 6月29日 (土) 3講時

## SDGs時代で求められる社会教育ー社会活動家からの提起ー (環境教育とNPO)

太田 稔 (NPO法人共育フォーラム 理事長、札幌大谷大学 社会学部地域社会学科 講師)

1973年網走市出身。2016年3月小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻修了。1997年4月環境共育事務所立ち上げに設立。2007年4月任意団体 共育フォーラム設立。2012年4月NPO法人共育フォーラム設立代表理事就任。2013年10月デリシヤス株式会社 顧問(びっくりドッキーのアレグループ)。2014年4月株式会社アレフ 恵庭えこりん村 コンサルタント。2015年4月発達支援・放課後等ディサービス事業所ぶかぶか 自然体験アドバイザー。2016年4月学校法人リズム学園 評議員 等。2018年10月小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 非常勤講師。2017年4月(認定NPO)特定非営利法人北海道障がい者乗馬センター 理事。著書『親と子の週末48時間(小学館)』共著。

## 第15回 / 6月29日 (土) 4講時

## SDGs時代で求められる社会教育ー社会活動家からの提起ー (消費者教育とフェアトレード)

橋長 真紀子 (札幌学院大学 経営学部 教授)

札幌市出身。2016年3月東京学芸大学大学院博士課程修了、博士(教育学)。札幌学院大学経営学部教授。金融機関、消費者教育支援センター、長岡大学を経て現職。日本証券業協会金融・証券教育支援委員会公益委員。専門は、消費者行動、消費者教育、金融教育。主な業績:『パーソナルファイナンス教育の理論と実証ーこれからの消費者市民力の育成ー』(慶應義塾大学出版会、2018)、『新しい消費者教育ーこれからの消費生活を考えるー』(慶應義塾大学出版会、2016)、『The Effectiveness of Personal Financial Education for College Students: Analysis of a University in the United States』『消費者教育』(第33冊、2013) などがある。



# 札幌学院大学

お問い合わせ先

## 札幌学院大学 教育支援課 (人文学部)

〒069-8555 江別市文京台11番地

☎011-386-8111(内線3223・3213 担当:飛田・高橋)

URL◎http://www.sgu.ac.jp